

## 第9回とやま未来創造県民会議における主な意見

(令和2年3月10日 開催)

### ◆全般に関すること

- 「同水準を維持または向上」と設定されている数値目標については、向上を目指すべき。
- 県の共通情報プラットフォームを作り、観光スポット等様々な情報を発信してはどうか。
- 戦略の中でも、特に何が重要なのかという視点を持つことが重要である。また、外に向けたブランドの発信だけでなく、内に向けて、県民一人一人が使命感と自己肯定感を持ち、地域に誇りをもてるような情報発信をしていくことが重要である。
- とやま未来創造青年プロジェクトチームの取組みについては、今後も継続的にフォローしていただきたい。
- 関係団体との連携のもと、今後もSDGsの認知度向上に取り組んでいただきたい。
- 人口減少や少子高齢化への対応、持続可能なまちづくりに向け、スマートシティの取組み推進が必要ではないか。

### 【基本目標1】結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

- 生産年齢人口の減少が見込まれるなか、少子化対策に大きなリソースを割くコンセンサスづくりが重要である。
- 出会いの場づくりが重要である。
- 子育ての負担感にばかり焦点をあてるのではなく、子育てをすることや、子育てに関わることの楽しさを感じられるような事業の展開が重要である。

### 【基本目標2】産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進

- 女性の転出が続いており、特に高学歴女性の雇用を確保する必要がある。
- 農林水産分野の情報発信をオール富山県民で行っていく必要がある。また担い手の高齢化も課題であり、スマート農業の推進が重要である。
- 県民や、関係人口に対するセールスプロモーションの強化が必要である。

【基本目標3】若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上

- 一定程度の人口減少はやむを得ないが、労働生産性を向上させ、一人当たり県民所得を向上させていくことが重要である。

【基本目標4】活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり

- 災害の激甚化、コロナウイルスなど、予想できないリスクが増加しており、それが顕在化した場合でも目標を実現していくことができるよう、国土強靱化への予算投入や、リスクマネジメントの観点も含めた施策の実行が重要である。
- MaaSの活用が、公共交通等の利用者の利便性向上に有効である。
- バスロケーションシステムの利便性が高く、一層の周知をお願いしたい。